

2019 年度事業計画

(2019-04-01 ~ 2020-03-31)

【0】基本方針・重点課題

1. JEI 創立 100 周年にあたり、その 100 年の歴史を踏まえて新たな発展の 100 年への道を模索し、中長期的な視野のもとに事業を進める。
2. JEI 創立 100 周年記念事業（新入会キャンペーン、『JEI100 年史』（仮題）発行、『La Revuo Orienta』全号の電子化等、図書館整備など）を推進し、JEI 創立 100 周年記念第 106 回日本エスペラント大会を成功させる。
3. 多言語・多文化共生時代に、エスペラントがどのように貢献できるかを考え、取り組みを進める。

【1】エスペラント普及事業

（担当：普及推進部）

【1.1】基本事業

1. 国内外のエスペラント組織と連携し、エスペラントについて知らせ、エスペランティストを増やす普及活動を行う。
2. 広域団体会員、地域団体会員、専門団体会員、また個人会員との連携を強化し、会員以外の団体、個々のエスペランティストを含めた協働の輪を広げ運動の発展を図る。
3. 広報委員会の活動を軸として一般への効果的なエスペラント広報活動を進める。

【1.2】エスペラント普及推進事業の計画

1. 国内のエスペラント運動の現状を把握し活性化を図る。
 - （1）広域、地域、専門の各団体に対し、2019 年の活動に関する情報の提供を依頼し、それを 2020 年 4 月号の RO 誌に「2019

年エスペラント運動年鑑」として発表する。発表方法については検討を行う。

- （2）「運動年鑑」の情報を生かし、活用する。
- （3）エスペラント界外の団体との協働を進める。

2. 各エスペラント団体と協働し、各団体の活性化を図る。

- （1）地方エスペラント連盟の大会などに理事・協議員が出席し、各地のエスペラント運動の状況について意見交換を行うように努める。

- （2）「エスペラント会懇談会」や、そのメーリングリストの運営を行い、情報の共有、経験交流を図り、ウェブ資料集の整備に努める。

3. 会員の拡大・定着に努める。

- （1）新しい会員の獲得のために新入会キャンペーンを引き続き行い、また会員の継続を呼びかける。

- （2）青年支援基金を活用して、青年層のエスペランティストを育成・支援する。

- （3）団体会員制度を含めた会員制度の改定の検討を行う。

- （4）熟年層への支援制度の検討を行う。

4. 運動に功績があったエスペランティストに「小坂賞」を授与し、内外にその功績を広める。

【1.3】エスペラント広報事業の計画

1. 本会ウェブサイトにおいて、エスペラントに関する、また行事・講習会等に関する情報を、よりわかりやすく一般およびエスペランティストに提供できるよう内容の充

実を図る。

2. ウェブサイト以外にもフェイスブック、ツイッター、ユーチューブ等の活用をさらに進め、より広い層への効果的な広報に努める。

3. マスコミ向けのニュースリリース「エスペラントの今」の定期的な発行を行う（年4回程度）。

4. 広報材料の拡充。

(1) エスペラント展に使える展示資料や宣伝チラシのウェブ上の共有書庫をさらに充実させ、公開する。

(2) エスペラントを効果的に紹介する国内外の動画の紹介や、本会の活動、日本大会を紹介する動画を製作し一般への広報に活用する。

(3) 第3回動画コンクールを開催し、優秀作品を第106回日本エスペラント大会で表彰するとともに、広報に活用する。

5. グローバルフェスタに参加、発表等を通して広報活動を行い、また多言語・多文化共生時代を意識して、他の国際交流団体や外国語教育関連団体との交流を図る。

6. 第106回日本エスペラント大会（さいたま市）のエスペラント界外への広報活動を強化する。

7. 「エスペラントの日」（6月12日）の効果的な活用を図る。

8. 本年のJEI創立100周年を効果的に活用してエスペラント界外への広報活動を強化する。

9. UEAによる広報に協力・協働する（「国際母語の日」の日本語版広報資料の作成等）。

【2】エスペラントを用いた

国際交流事業（担当：国際部）

【2.1】基本方針

1. エスペラントによる国際交流事業を、特に世界エスペラント協会 (Universala

Esperanto- Asocio = UEA) の日本における国別代表組織として推進する。UEAのアジア・オセアニア委員会 (Azia-Oceania Komisiono = KAEM)、日本の UEA 委員、UEA-delegito（都市代表者）と協働する。

2. 日本のエスペランティストが行うエスペラントによる国際交流事業を支援する。

3. 外国のエスペランティストに日本国内のエスペラントによる国際交流事業への参加を促す。

【2.2】国際交流事業の計画

1. 2019年に開催される国際的なエスペラント大会への参加・協力を呼びかける。特に青年層に「青年エスペランティスト国際行動支援金」制度を活用しての参加を呼びかける。

(1) 第9回アジア・オセアニアエスペラント大会（ベトナムのダナン 4月25日～28日）：参加グループ旅行を関連事業部と協力して実施する。

(2) 第37回東アジア青年エスペラントセミナー（ベトナムのダナン 4月29日～5月3日）。

(3) 第104回世界エスペラント大会（フィンランドのラハティ 7月20日～27日）：参加旅行団を関連事業部と協力して実施する。UEA 委員に委員会への出席を支援し、Movada Foiro（エスペラント運動展）へ出展する。

(4) 第75回国際青年エスペラント大会（スロバキアのリプトフスキー・ハラードク 7月28日～8月4日）。

(5) その他、日本国内外で開催されるエスペラントによる国際交流事業。

2. 第106回日本エスペラント大会で「アジア活動分科会」、「UEA-delegito 分科会」、「Pasporta Servo（国際無料宿泊網）分科会」を開催する。東アジア4か国（韓国、中国、

ベトナム、モンゴル) の UEA の国別代表組織に同大会への招待状を送り、実行委員会と協働する。

3. 日本のエスペ란ティストへの支援として、国際文通サービスを継続する。
4. 日本国内 UEA-delegito 間の連絡を図り、また delegito を増やすように働きかける。
5. 各地のエスペラント会の姉妹都市交流状況を調査し、エスペラントによる姉妹都市活動の活性化に資する。

【3】エスペラント研究教育事業

(担当：研究教育部)

【3.1】基本方針

1. 教育部門においては、エスペラント学習者の語学力向上の支援、エスペラント指導者の育成および指導力強化、教材や資料の提供、学校を含むエスペラント界外でのエスペラント教育に関連する事業の支援等に取り組む。特にウェブによる学習環境を充実し、若い学習者への支援を強める。
2. 研究部門においては、エスペラント語学の振興および関連諸分野との交流を含めたエスペラント語論の発展に取り組み、増強を図る。
3. ハケ岳エスペラント館を本会の研修施設として活用し、エスペラント運動に一層貢献できるようにする。
4. 事業活動の円滑な推進のためには、それらの活動を担う人材の確保と効果的な業務分担が不可欠であるという観点から、研究教育部員及び各種委員の募集に努める。

【3.2】研究教育事業の計画

1. エスペラント集中学習の機会として、一泊二日の「エスペラント中級セミナー」を埼玉嵐山町で開催する(6月22日～23日)。
2. 入門、初級、中級の各講座の指導者のための講師養成講座を開催する。
3. JEI 学力検定試験については、試験委員

を増員し、受験機会を増やすとともに、各級検定基準をより明確にして受験希望者の効果的な学習に寄与する。毎年1回以上はエスペラント会館(東京)で3級・4級試験を実施する。

4. UEA の主催する KER 試験 (Komuna Eŭropa Referenckadro、ヨーロッパ言語共通参照枠に基づく試験) の実施に協力する。
5. 学校でのエスペラント学習に対しては、校内の授業支援および校外での学習グループ支援を行う。
6. ウェブ講座「ウェブ版ドリル式エスペラント入門」の学習支援事業を継続する。
7. エスペラントの語学的概要を短時間で紹介する短編動画を作成し、インターネットで公開する。
8. 多言語・多文化共生時代に適応したエスペラント教育の新たな体制作りの検討を始める。
9. 日本エスペラント大会で研究発表会および文芸コンクールを実施する。普段からの情報収集に努め、発表を促す。
10. エスペラント研究発表会運営委員会の活動を基盤にしてエスペラント研究増強のための取り組みを推進する。
11. エスペラント学習サイト Lernu! の文法項目に関して、日本語への翻訳率改善に向けた取り組みを検討する。

【3.3】ハケ岳エスペラント館における事業の計画

1. 総利用者数 450 名 (寄付宿泊者 330 名) を目標とし利用者増を図る。
2. 4月7日(日)から11月8日(金)まで開館し、この間週末と夏季は宿直当番を置き、利用者の便宜を図る。
3. 現行の寄付料金体系(1泊目2,500円、2泊目から1,000円)を引き続き実施する。
4. 合宿や講習会等を利用し、エスペラント

館利用ライセンス所有者増の取り組みを行う。講習マニュアルや受講者名簿の充実整備もあわせて行う。

5. ハケ岳エスペラント館利用の手引きの充実（周辺観光地、周辺散策地の情報の集積）。ウェブページへ反映。

6. ライセンス所有者のメーリングリストでの交流、宣伝を強める。

7. 第106回日本エスペラント大会でハケ岳エスペラント館の宣伝をし、国内や海外も含めてハケ岳館の利用促進を図る。

8. 開館25周年に伴い、3つ折りチラシの更新、第106回日本エスペラント大会で写真展示を行う。

9. 世界エスペラント大会やエスペラント関係の展示を通年で行之、地元や一般の人々にも公開の機会を持つ。

10. 次の行事を主催する。

(1) 春のハケ岳エスペラント館の日（4月19日～21日）。

(2) 第21回エスペラント漬け合宿（NEK）（8月24日～26日）。

(3) 秋のハケ岳エスペラント館の日（9月14日～16日）。

【4】エスペラント雑誌の刊行事業

（担当：編集部）

【4.1】基本方針

1. 雑誌『*La Revuo Orienta*／エスペラント』（RO誌）を下記の方針で発行し、エスペラントの普及発展に資する。

(1) エスペラントを学ぶ人にとって学習のよりどころとなる。

(2) エスペラントを使う人にとって実用の場を深め、広める。

(3) エスペラントを広める人にとって情報源となり、運動の活力となる。

(4) エスペラント経歴の深浅にかかわらず、魅力的な誌面構成になるよう努める。

【4.2】雑誌刊行事業の計画

1. RO誌を下記のように刊行する。

(1) 印刷版としてA5判40ページを原則とした雑誌を毎月発行する。ただし8・9月号は合併号とする。

(2) 電子版は、個人会員に本会ウェブサイト内の会員専用ページで提供する。

(3) 視覚障害者向けには、印刷版を抜粋した音声版CDを発行する。また点字版の制作に協力する。

2. 編集体制は、毎月の編集部会を中心とし、年1回拡大編集部会を開く。

3. 各号は、ニュース記事・定例記事・特集記事などの比率、日本語文とエスペラント文との比率を考慮しつつ編集する。特集記事は、本会とエスペラント界の動向を反映しつつ、編集部会で計画する。特に今年度はJEI創立100周年に対応した記事を入れる。

4. 他部門との連携により、一部の号を「大特集」として発行する：4月号に普及推進部と「運動年鑑」大特集、2020年1月号に大会組織部と「第106回日本エスペラント大会報告」大特集。

【5】図書等刊行・頒布事業

（担当：出版部）

【5.1】基本方針

1. エスペラントの学習、エスペラントに関する文化の発展、エスペラント普及に資する図書出版活動を行う。

2. 内外のエスペラント図書を仕入れて販売する。また内外のエスペラント雑誌購読を取り次ぐ。

【5.2】図書刊行事業の計画

1. 出版物として下記を予定する。また具体的な出版物の案がある場合検討する。

(1) 第106回日本エスペラント大会記念『埼玉エスペラント運動史』の出版。

(2)『ドリル式エスペラント入門』冊子版の出版。

(3)『JEI100 年史(仮題)』の出版。

(4) 阪直氏ホームページ『週刊やさしい作文』の出版の検討。

(5)『Esperanto kaj Mi』の出版の検討。

2. 今後の出版物の準備、計画を行う。

(1)『日本語エスペラント辞典(宮本正男編)』の全面改訂作業を新日本語エスペラント辞典編集委員会のもと進めてゆく。

【5.3】図書頒布事業

1. エスペラント書籍の販売、取り次ぎを行う。

2. 「エスペラント読書相撲」の推奨などを通じて、エスペラント図書の拡販に努める。

【6】エスペラント大会主催事業

(担当：大会組織部)

【6.1】基本方針

1. 日本エスペラント大会は、国際語エスペラントの実用及び活用、並びに学習、研究及び創作の発表の場であると共に、エスペラントの存在を社会に知らせ、普及を進める催しでもある。同時に日本国内外のエスペランティスト同士が交流し、親交を深め、エスペラント界の文化を高める場でもある。本会はこのような意義を持つ本大会を、日本各地のエスペランティストの協力を得ながら毎年開催する。

2. 本大会の毎年の日本各地での開催を持続可能なものとし、開催エスペラント団体の活性化とその地域でのエスペラントの普及推進に寄与できるものとすべく、経験の蓄積、共有を行う。

【6.2】日本エスペラント大会主催事業の計画

1. 第106回日本エスペラント大会をさいたま市において次の要領で開催する。

(1) 開催日：2019年10月12、13、14日

(土、日、月祝)。

(2) 会場：埼玉会館。

(3) 共同主催団体：埼玉県エスペラント連絡会。

(4) JEI 創立100周年記念大会とする。

2. 2020年の第107回日本エスペラント大会の開催地を決定して、準備を進める。

3. 2021年の第108回日本エスペラント大会の開催地を探す。

【7】その他事業及び法人の管理

(担当：総務部、財務部、ウェブ管理部)

【7.1】基本方針

1. 本会のエスペラント事業の核となる会員の活動を支援し、会員数の維持・拡大に努める。

2. 各事業部門と連携し、事業が円滑に行われるよう支援する。

3. 本会のより効果的な管理・運営方法の見直しと確立に取り組む。

【7.2】総務部担当事業の計画

1. 総務部の職務(庶務、会員管理、エスペラント会館管理活用、役員支援など)を事務局および関連委員会(選挙管理委員会、小坂賞委員会)の協力を得て、着実に実行する。

2. 事務局の課題には、財務部とともに事務局会議を定期的に開き対応する。

3. JEI 創立100周年記念事業の一環として、図書館(収蔵図書の書誌データ等)の整備を進める。

4. 図書販売促進のため、各種行事を利用した対策を実行する。

5. 関連事業部と協力し、第9回アジア・オセアニア大会(ベトナムのダナン)へのグループ旅行、第104回世界エスペラント大会(フィンランドのラハティ)へ向けての旅行団を企画、実施する。

6. 「エスペラントの日」(6月12日)の行事として、多言語・多文化共生に関連した公開講演会を企画する。
7. 本会事業の継承ができるよう運用を開始した電子化された情報保管庫(ドロップボックス)の利用を進め、理事・協議員全員が支障なく利用できるよう支援する。
8. エスペラント会館の耐震診断を行い、修繕計画を立てる。

【7.3】財務部担当事項の計画

1. 公益目的支出計画および長期予算計画との整合を取りつつ、中長期的な視野の下に堅実な収支運営を図り、本会事業の執行を財務面から支える。

【7.4】ウェブ管理部担当事項の計画

1. 本会ウェブサイトで本会事業(行事や雑誌等)の広報を行う。
2. フェイスブックやツイッター等によるエスペラントの広報を支援する。
3. 会員ページ(本会会員がパスワード付でアクセスするページ)の改良を行い、会誌バックナンバーのみでなく、会員に有用な情報を掲載する。
4. 本会の在り方に対応したウェブ共同運営体制を構築するための検討を行い、段階的に実行に移す。

以上